

チョウの採集と標本づくり



監修：学芸員 八尋克郎

環境学習の内容

チョウは身近な昆虫です。チョウの標本づくりを通して、チョウの体のつくりや種類を見分けるポイントを学びましょう。

必要な道具

採集するとき



標本をつくるとき



全ての道具は貸し出しセットに付属しています。
標本箱は各自で準備してください。
標本づくりの動画は YouTube をご覧ください。

チョウの採集の方法

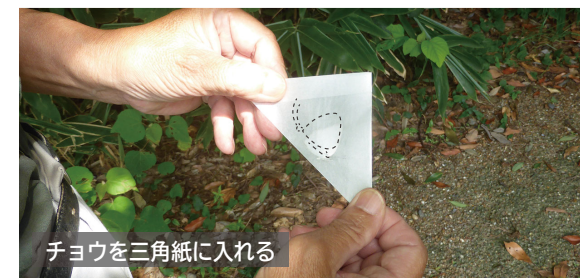
チョウは、捕虫網で採集します。花にきているチョウを狙うのが一番採集しやすい方法です。また、アゲハチョウの仲間は同じところを飛ぶ（蝶道）ので、その行動を予測して待ち伏せして採集するのもいい方法です。チョウが捕虫網の届く範囲に入ったら、動きにあわせて狙いを定めて素早く一振りです。チョウを採集する場合は、ルールやマナーを守り、学習の目的をもって採集しましょう。



・チョウを採集する方法



・虫かごに入れておくとばたばたして翅がぼろぼろになる。標本にする場合、捕虫網で採集したチョウは網の上から胸を強く押して動けないようにする。



・動けなくなったチョウを三角形の底辺に、翅の前のふちと触角がくるように入れる。三角紙には採集年月日、採集場所、採集者名のデータを書いておく。



・三角紙は、チョウが壊れないように三角缶に入れる。

チョウの標本の作り方

昆虫は種類によって標本の作り方が異なります。チョウは展翅板と呼ばれる板の上で翅の形を整え乾燥させて標本にします。この作業を展翅と言います。

三角紙に入れたチョウはすぐに標本にしましょう。乾燥すると標本を作るのが難しくなります。しばらく置いておく場合は、タッパーに入れ、冷凍庫で保管してください。



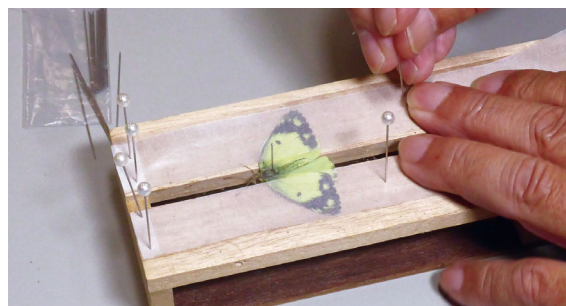
①展翅テープの先端を5mm程度2回折って、展翅板の真ん中の溝から5mmほどあけて展翅板にまち針で固定する。



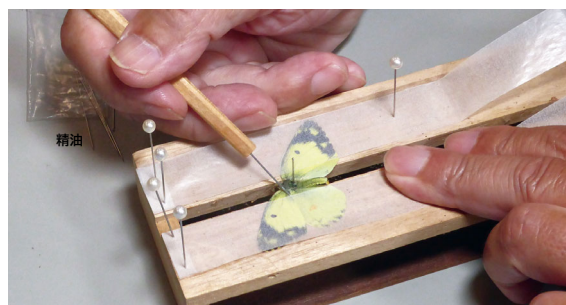
②チョウの胸に昆虫針を刺す。



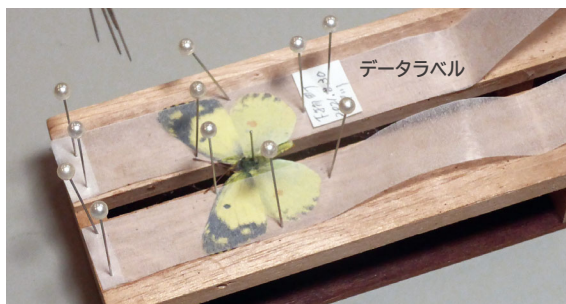
③展翅板に垂直に針が刺さっているか確かめる。翅が展翅板の上で開く位置の高さに刺す。



④展翅テープを翅にかぶせる。
下の部分をかるくまち針で押さえる。



⑤展翅テープをゆるめたり、ひっぱりたりしながら、柄付き針で翅の翅脈の固い部分をひっかけて翅をひきあげる。形が決まったら、翅の下部分をまち針でとめる。



⑥左右の翅をあげてまち針で固定して、触角を整え針で固定したら完成。翅をしっかり上げて、左右対称に形を整えるのがポイント。この状態で約4週間自然乾燥させる。展翅板には、採集場所、採集年月日、採集者名を書いたデータラベルを添付しておく。

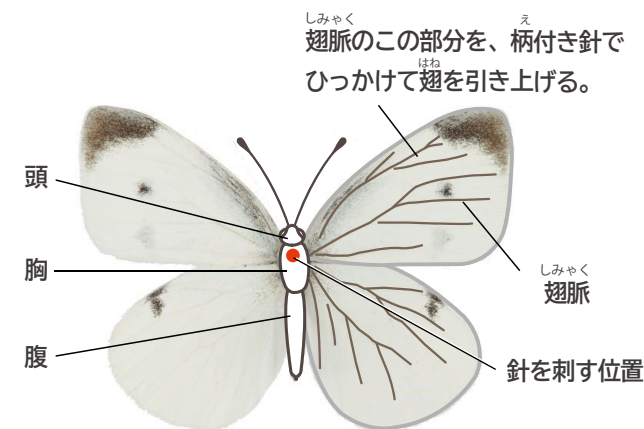


⑦乾燥後、昆虫針以外をはずして標本にデータラベルをつけたら完成。



⑧標本は虫に食べられないように、防虫剤を入れた密閉性の高い標本箱に入れて保管する。

チョウの体のつくり



チョウの標本の
作り方動画はこちらから

琵琶湖博物館
YouTube
チャンネル



お問合せ・返却先

滋賀県立 琵琶湖博物館 環境学習センター

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091

TEL:077-568-4811

ecolo@pref.shiga.lg.jp

